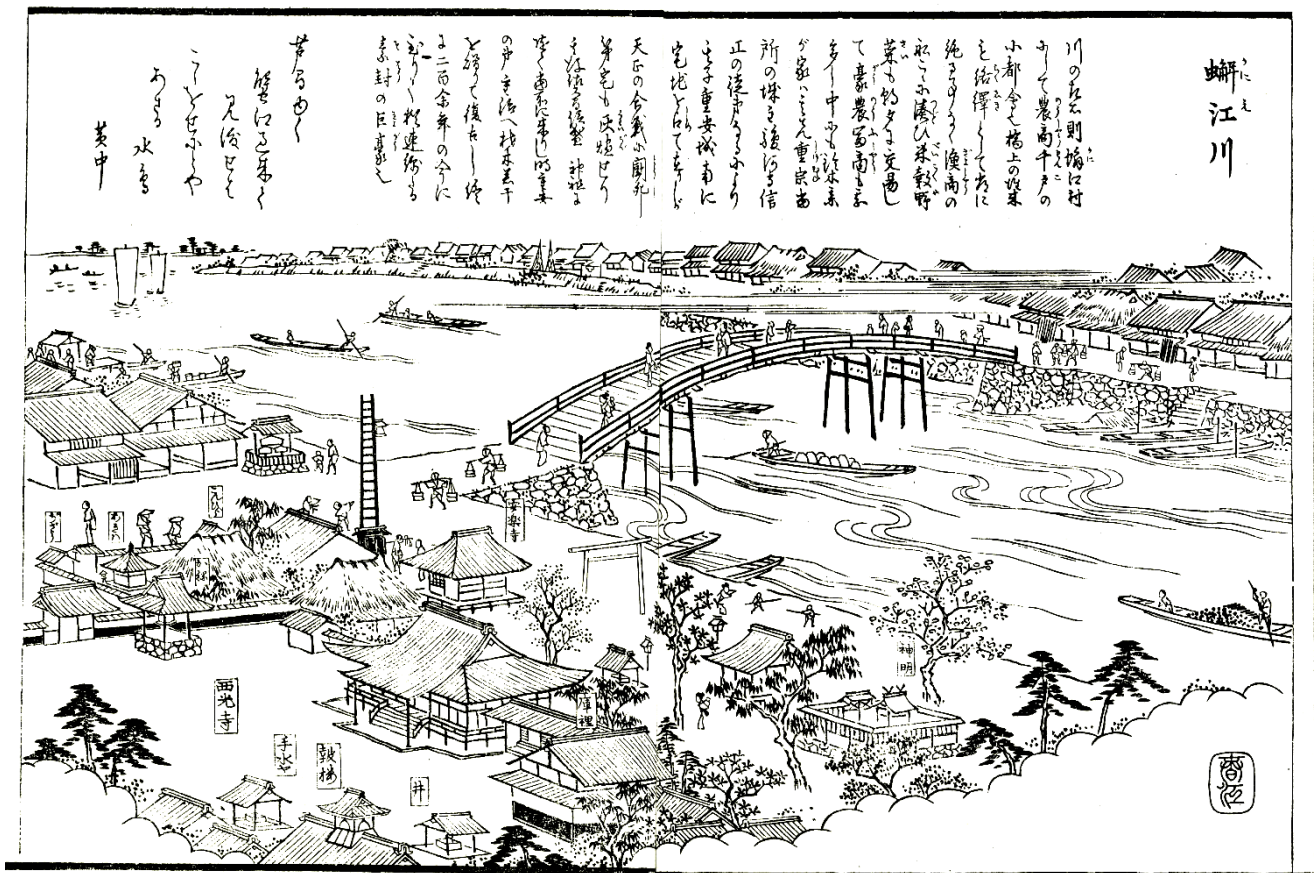


第28回 蟹江町の橋について(答えと解説)



『尾張名所図会』より

今回のおうちミュージアムは、蟹江町内の川にかかる橋をとりあげます。

むかしの絵や写真、今の写真、橋の名前を、線でつないでみましょう。

答え

むかしの絵や写真

今の写真

橋の名前



ヒント：蟹江川にかかる橋です



日光大橋
(にっこうおおはし)



ヒント：橋のところだけ川がせまくなっています



霞切橋
(かすきりばし)



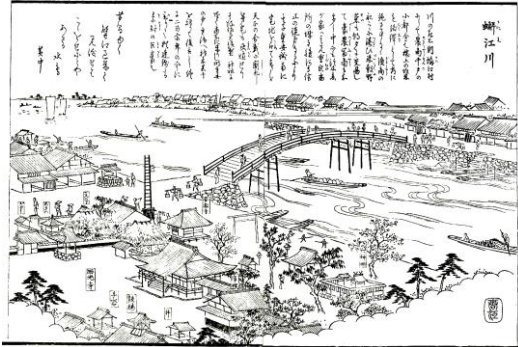
ヒント：3つの中で一番大きな橋です



昇平橋
(しょうへいばし)

解説

昇平橋（しょうへいばし）



昇平橋は、蟹江川にかかる橋です。上左の絵は、江戸時代に『^{おわりめいしよ ず え}尾張名所図会』という本で^{しょうかい}紹介されたもので、今とはちがう木でできた橋がかかれています。よく見ると、きものを着た人や荷物を運ぶ人が橋をわたっています。（表紙の大きな絵も参考にしてください。）
このころは、この橋のまわりが蟹江のまちのなかでいちばんにぎわっていた場所でした。時代がかわり、石づくり風の橋になりましたが、橋の近くにある神社やお寺は今もかわらずのこっています。

霞切橋（かすきりばし）

霞切橋は、佐屋川にかかる橋です。下左の絵は、江戸時代に「^{めい く しょうけい}名区小景」という本で^{しょうかい}紹介されたものです。まわりの様子は少しかわりましたが、橋や川の様子は今もあまりかわっていません。「名区小景」という本には、この他に「^{よざむばし}夜寒橋」や、「^{す なりてんのう}須成天王」として^{てんのうばし}天王橋も紹介されています。





やすみ橋
夜寒橋



てんのうべし
天王橋

日光大橋（にっこうおおはし）



日光大橋は、日光川にかかる橋です。町内には同じ名前の橋が2つありますが、南にある方が、写真の橋です。上左の写真は昭和のはじめのもので、まだ木の橋も多かった時代でしたが、この橋は、コンクリートで丈夫につくられていました。さらに、橋の下には、水害の時に役立つように水門がつけられていました。昭和34年（1959）の伊勢湾台風で大きな被害を受けたときには、この橋が船で運ばれてきた救援物資の受けわたし場所になりました。

また、柱にはゾウをイメージしたかざりがついていました。そのため、近くの住民たちからは「ゾウ橋」とよばれ親しまれていました。今は鉄骨の橋にかわりましたが、ゾウのかざりは、蟹江町産業文化会館の正面にかざられています。



橋にっていたゾウのかざり（右）



産業文化会館正面のゾウのかざり

川が多い蟹江町には、ここで紹介した橋の他にもたくさんの橋があります。
散歩しながら、橋めぐりをしてみたいはいかがでしょうか。

